第14回 ON AIR

ごめんありがとう情報局

マルチクリエイター 困ったときのやなせさん

画像提供：（公財）やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団

やなせたかし先生と言えば？

アンパンマンの生みの親であり、漫画家、詩人、作詞家、デザイナー、絵本作家、編集者、歌手と、色んな肩書きを持つ、まさに「マルチクリエイター」。

やなせ先生は終戦後の1946年5月、高知新聞社に就職し、後に妻となる暢さんと出会います。恋仲になった二人でしたが、暢さんはやなせ先生を置いて先に上京してしまいます。その半年後、やなせ先生は暢さんを追い上京。今回は、ごめん町を離れた後のやなせ先生についてご紹介します。

はじめはデザイナー

三越百貨店宣伝部に就職したやなせ先生。店内装飾や売り場看板、ポスターなどのデザインを手がけます。今も使用されている三越の包装紙「華ひらく」の制作にも携わり、英文字のレタリングはやなせ先生が担当したものです。

その後、三越を退職し漫画家として独立したやなせ先生ですが、代表作といえるものはないまま。それでも売り込みをしていないのにいろいろな仕事が回ってきます。

「突然見知らぬ人が訪れてきて、やったこともない仕事を押し付けるんですね。」（やなせたかし「人生なんて夢だけど」フレーベル館より）

例えば…

・**宮城まり子さん**からリサイタルの**構成**

・**永六輔さん**からミュージカル「見上げてごらん夜の星を」の**舞台美術**

・**手塚治虫さん**から長編アニメ「千夜一夜物語」の**美術監督**　など。

他にもラジオコントの脚本やテレビ番組の構成、司会などを頼まれます。「難しい仕事や未知の仕事には、好奇心と冒険心をそそられる」とどんな仕事も断らなかったやなせ先生。

「困ったときのやなせさん」という異名がつきます。

名作誕生秘話

急に「明朝までに」と頼まれて徹夜で30分のラジオドラマを書いたことも。この時に執筆したのが「やさしいライオン」でした。「やさしいライオン」は、映画、ミュージカル、紙芝居にもなり、やなせ先生の絵本の代表作になります。

絵本『やさしいライオン』（新装版 2022年）
やなせたかし 作・絵／フレーベル館 刊
©やなせたかし

名曲「手のひらを太陽に」もこれらの数々の仕事の巡り合い、ご縁で生まれたもの。やなせ先生と同じく、永六輔さんの舞台に携わっていたいずみたくさんが作曲し、やなせ先生が作詞したこの曲を最初に歌ったのは、宮城まり子さんでした。

また、ラジオドラマで書いていた自作の詩をまとめたものが、詩集「愛する歌」として出版されます。出版してくれたのが、山梨シルクセンター（現サンリオ）。この出会いが、やなせ先生が30年間にわたり編集長を務めた雑誌「詩とメルヘン」へとつながります。

「人生はよろこばせごっこ」というやなせ先生だからこそ、素敵な出会いがあり、多くの人に頼られ認められ、マルチな才能を発揮されたのではないでしょうか。

そして、やなせ先生は代表作となった「アンパンマン」誕生後も、**「絵を描く、詩を書く、恥をかく」**の〝三かく主義〟で作品を生み出し続けました。

やなせ先生の詩と絵と人生に触れられる特別展が、香美市立やなせたかし記念館で開催中です。300点越えの作品が展示されていますので、この機会にぜひ行ってみてください。

特別展
「ぼくと詩と絵と人生と」

■ 日時／9月28日㈰まで
■ 場所／香美市立やなせたかし記念館（アンパンマンミュージアム＆詩とメルヘン絵本館＆別館）

入館は事前予約制です。来館前に右記二次元コードからご予約ください。

第22回 ハガキでごめんなさい作品募集

樫尾篤紀さん
香美市出身／伊達正役

瞳水ひまりさん
南国市出身／宇戸しん役

“ごめん町”で少年時代を過ごした、やなせたかし先生発案の全国コンクール。言いそびれた「ごめんなさい」をハガキに書いて“ごめん町”に送ってください。

大賞は賞金3万円！　特別賞は「やなせたかし賞」のほか、やなせ先生夫婦をモデルとしたNHKの連続テレビ小説「あんぱん」に出演された地元出身のお二人にも選考いただきます。

また、今回はハガキだけでなくX（旧twitter）でも作品を募集します。

■ 応募要項

文字、イラストなど表現方法はオリジナルであれば自由です。
（応募数制限なし。はがきは1枚につき、Xは1投稿につき作品は1点のみ。）

・はがきでの応募

【裏面】市販のはがき、またははがきサイズの紙を使用し200字以内でお書きください。
【表面】氏名、ふりがな、年齢、住所、連絡先、（学生の方は学年）を必ずご記入ください。
応募作品は公表する場合があります。都道府県までの住所と氏名の公開を希望されない方は、「住所公開不可」「ペンネーム」を必ず記載ください。

NEW

・Xでの応募

南国市観光協会のXアカウント（@WelcomeNankoku）をフォローして、「#ごめん22」をつけて投稿してください。受賞者にはダイレクトメッセージで氏名、ふりがな、年齢、住所、連絡先をお聞きします。
受賞作品はアカウント名と併せて公表します。

■ 入賞者発表／12月開催（予定）の選考会後、南国市観光協会ホームページに掲載
■ 表彰式／令和8年2月8日㈰予定
■ 応募先／〒783-0011　南国市後免町2-1-12　後免町防災コミュニティーセンター内
ハガキでごめんなさい実行委員会

南国市観光案内人の会ガイドウォーク

やなせ先生の弟・千尋さんの名前が刻まれた忠霊塔へのお参りウォーク

1944（昭和19）年、柳瀬千尋さんは若くして太平洋戦争で亡くなりました。

3歳で父を亡くした後、柳瀬医院を営む伯父夫婦の養子になりごめん町で育った千尋さんは、成績優秀、柔道二段の腕前でやなせ先生の自慢の弟でした。終戦後、やなせ先生が復員してごめん町に戻ると、骨壺の中に「海軍中尉柳瀬千尋」と書いた木札が1枚だけ…フィリピン沖の海底に沈み、遺骨もなかったという千尋さんの名前が刻まれた忠霊塔や、やなせ兄弟が育ったごめん町を歩きます。

■ 日時／8月15日㈮　9:00～11:00（受付8:40～）※少雨決行
■ 受付場所／海洋堂スペースファクトリーなんこく入口前
■ 費用／500円　■ 定員／先着20名
■ 申込締切／8月12日㈫
■ コース
海洋堂→「やなせたかし おとうとものがたり」（フレーベル館刊）の看板→忠霊塔→観光案内所→海洋堂

国府地域ミステリーガイド

■ 日時／9月9日㈫　10:30～12:00（受付10:20～）※雨天中止
■ 受付場所／古今集の庭駐車場（南国市比江）
■ 費用／500円　■ 定員／先着15名
■ 申込締切／9月5日㈮
■ コース／国府地域の6～7カ所のミステリースポットを歩きます。

■申し込み・問い合わせ／南国市観光協会　☎088-855-3985（平日のみ）
（ハガキでごめんなさい実行委員会事務局・南国市観光案内人の会事務局）